

新型コロナウイルス感染症対策

災害時の避難(避難所)について

◆災害時の避難所は、避難者が「密集」「密接」するケースが多く、感染の拡大が懸念されます。

避難する 場合は

感染リスク軽減のため、次のものをご持参ください。

- マスク (なければタオル等)
- 体温計
- 筆記用具
- スリッパ (上履き)
- 水、食料、毛布等
- そのほか各自必要なもの

◆避難所での感染を防ぐため、以下の点について市民の皆様のご協力をお願いします。

分散避難

安全な場所に住んでいる親せきや友人、知人宅等への避難もご検討ください。

在宅避難

川の近くや低い土地といった危険な場所に住んでいない方は、**自宅に留まる在宅避難**(2階などに避難する垂直避難)などもご検討ください。

車両避難

避難所施設に入らず、**車の中で避難**することも、他人との接触を避ける1つの方法です。



このチラシは「小城市ハザードマップ」と一緒に保管して下さい。

チラシ裏面に、避難勧告等を発令する際の主だったエリアについて、行政区毎に整理しています。避難する際の目安としてご確認ください。

とるべき行動を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅災害リスクと、とるべき行動を確認しましょう。

とるべき行動判定フロー

●あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

「ハザードマップ」で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※「ハザードマップ」は、しん水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色がぬられていますか？

いいえ

色がぬられていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる場合は、市区町村からのひな人情報を参考に、必要なときは避難してください。

はい

災害の危険があるので、自宅ではなく安全な場所へ避難が必要です。

例外

※しん水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒れたり、崩れたりしてしまう恐れがない区域である。
②しん水する深さよりも高いところにいる
③しん水しても水が引くまで我慢できる
水・食料などの備えが十分にある場合は、自宅に残り安全確保することも可能です。
※土砂災害の危険があっても、十分頑丈なマンション等の上の階に住んでいる場合は自宅に残り安全確保することも可能です。

自分またはいっしょに避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて、お世話になることができる親せきや知り合いの人はいますか？

はい

警戒レベル3が出たら、**安全な親せきや知り合いの家に避難**しましょう(日ごろから相談しておきましょう。)

いいえ

警戒レベル3が出たら、市が指定している**指定避難場所**に避難しましょう。

安全な場所に住んでいて、お世話になることができる親せきや知り合いの人はいますか？

はい

警戒レベル4が出たら、**安全な親せきや知り合いの家に避難**しましょう(日ごろから相談しておきましょう。)

いいえ

警戒レベル4が出たら、市が指定している**指定避難場所**に避難しましょう。